

平成 24 年度の取組概要について

1 放射線健康影響調査費について（補正予算額 3,307 千円）

調査の内容	前回の調査対象者（当時 15 歳以下の子ども 132 人）のうち、今回調査の協力者に対し、可能な限り前回同様の条件で再調査を実施する。 ① 尿採取（尿量 2ℓ、生活状況等の問診票への記入） ② ゲルマニウム半導体検出器による測定（目標検出限界 1.0Bq/ℓ 以下）
調査期間	平成 24 年 10 月 15 日～平成 25 年 1 月 25 日
評価方法	① 評価項目：1 日尿中放射性物質質量及びこれに基づく預託実効線量 ② 評価手法：測定データを分析するとともに、個々人の前回調査データと比較検証
調査数	86 人（今回調査協力者）

2 放射線健康相談等支援事業費補助について（補正予算額 34,650 千円）

(1) 事業目的

汚染状況重点調査地域に指定されている県南 3 市町（奥州市、一関市及び平泉町）において、住民に最も身近な相談窓口である市町村が、希望者を対象とした子どもの放射性物質の測定等を通じて、放射線による健康リスクや内部被ばくに関する個別健康相談等の事業を実施することにより、県及び放射線に関する専門機関と連携し住民の健康不安の解消に努めていく。

(2) 補助対象経費等

区分	相談支援等事業	放射線内部被ばく検査事業
対象経費 (例)	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談窓口の設置 職員の研修派遣 住民向け出前講座の開催 啓発用リーフレットの作成・配付 	<ul style="list-style-type: none"> 民間検査機関への検査委託 遠隔地での検査が必要な場合の車両借上
基準額及び補助率	ア 一関市、奥州市（3,000,000 円） 6,000,000 円×補助率 1 / 2 イ 平泉町（900,000 円） 1,800,000 円×補助率 1 / 2	検査 1 人（件）あたり@15,000 円 ×3,700 人×補助率 1 / 2 〔一関市 2,300 人〕 〔奥州市 800 人〕 〔平泉町 600 人〕
実施状況	ア 一関市：相談窓口設置、講演会、職員研修、リーフレット配布 イ 奥州市：講演会 ウ 平泉町：リーフレット配布	ア 一関市：希望者 1,660 人 イ 奥州市：希望者約 1,383 人 ウ 平泉町：希望者 135 人